

<別紙 1 >

「電気と社会」のリニューアル概要

<日本の近代化と電気>

大正から昭和初期にかけ、都市で電化が進んだことにより、生活に与えた変化をご紹介します。

- 昭和初期の映像により「電気がつくった新しい文化」をご紹介します
- 大正から昭和初期の家電製品の新規展示
家庭の電化が始まった頃の家電製品をご覧ください。



<戦後復興、高度経済成長と電気>

昭和 30 年代以降、著しい経済成長とともに家電製品が普及し生活スタイルも変化してきたことについてご紹介しています。

- 「家電製品」と「家電製品がなかった頃の道具や器具」を比較展示
 - ・ 電気冷蔵庫と氷冷蔵庫
 - ・ 洗濯機とたらい・洗濯板 等
- 昭和 30 年代のくらしの再現
 - ・ 常設展示として新規に茶の間を再現
 - ・ 昭和 30 年代のニュース映像を放映しています。(内容は月ごとに変わります)



<大量消費の時代と電気>

昭和 40 年代以降、家電製品は情報家電をはじめとする娯楽や楽しみと言った快適さを追求してきました。生活の多様化についてご紹介しています。

- 情報家電の始まりとして、ゲーム機など新規に展示
- 最後の白熱電球
 - ・ 実物展示：竹製炭素フィラメントと東芝製白熱電球 (最終生産ロット)
 - ・ 点灯比較：白熱電球とLED電球を点灯させて明るさを比較できます。

